

環境美化と地球温暖化防止へ向けて

環境美化一斉運動にご参加ください

6月の環境月間に合わせ、市内の各地区で清掃活動などが実施されます。皆さんもぜひご参加ください。実施時間・場所などのほか、詳細については、各地区の嘱託員や団体のリーダーなどから指示があります。くれぐれも事故のないようご注意ください。

◆環境月間に伴う宇城市の主な行事予定

行事名	内 容	場 所	実施日
三角管内 環境美化行動の日	道路沿線の除草、 空き缶・空きびん拾い	三角町全域	6月5日午前中
三角西港 クリーン作戦	三角西港海岸沿いの 空き缶・空きびん拾い	三角西港	6月11日8:30～9:30
環境美化 一斉行動の日	川、海岸、道路、公園、 ごみ収集場所等の清掃	不知火町全域	6月5日午前中
松橋管内 一斉美化運動	公共施設、ごみ収集ステーション、 道路等の清掃および不法投棄処理	松橋町全域	6月5日午前中
CO ₂ 削減・百万人の 環ライトダウン	夜2時間の消灯	宇城市役所本庁舎 松橋不知火浄水管理センター	6月19日
小川管内 一斉除草作業	道路、河川の除草作業等	小川町全域	基準日:6月5日、 7月31日、9月18日
豊野管内 一斉清掃の日	豊野管内全域の空き缶 拾いおよび清掃活動	豊野町全域	6月5日6:00～8:00

「地球温暖化防止のためのCO₂削減/ライトダウンキャンペーン」

環境省では、「脱温暖化社会の構築」と「循環型社会の構築」を二本柱として施策を進めています。特に、「脱温暖化社会の構築」については、本年2月の京都市議定書発効を機に、他国に先んじて脱温暖化社会づくりを進めなければなりません。

環境省では、2003年から地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の電気を消していただくよう呼び掛ける「地球温暖化防止のためのCO₂削減/ライトダウンキャンペーン」を実施してきました。

これは、広く国民に「こうすれば地球温暖化を防げる」といった、ライフスタイル転換に対する「気づき」を伝えていくことが必要であると考え、その代表例としてシンブルなメッセージ『消灯11秒スイッチ・オフ』を働き掛けるキャンペーン・イベントです。

本年も6月18日(土)・19日(日)・21日(火)(夏至の日)の3日間実施します。特に19日(日)の夜を「ブラックイルミネーション2005」と題し、午後8時～10時までの2時間、世界の大タワーをはじめとするライトアップ施設や各家庭の電気を一斉に消すことを広く呼び掛けます。

本キャンペーンの趣旨にご賛同いただき、皆さまのご家庭でもライトダウンをお願いいたします。

地球温暖化をはじめとする環境問題の解決には、まず、私たち一人ひとりが自らの生活・行動を見直すことが大切です。

1972年6月5日からストックホルムで開催された国連人間環境会議を記念して、国連は6月5日を「世界環境デー」と定め、また、わが国では、平成5年11月に制定された「環境基本法」により、6月5日を「環境の日」と定めています。

また、この日を含む6月を「環境月間」とし、全国でさまざまなイベントが行われています。

一斉清掃後、さわやかな笑顔を見せてくれた豊野中3年生5人組



ごみを見逃さないよう注意深く歩く子どもたち



豊野にごみがこんなにいっぱいあるとは思いませんでした。いいことをしたので気分そう快です！

た。今後この運動を宇城市に広げ、市全体をきれいにしたいです」と話していました。

なお、同事業に賛同し、市内の地域おこしグループ「ポトスの会」(西岡ミチ子代表)、「水と緑をまろう会」(森田良光会長)、「風の会」(富士田シゲ子代表)も、同日、地元河川の清掃を実施しました。

住民や市民団体、行政機関などが協力して環境美化に取り組む「緑川の日一斉清掃」(緑川の日実行委員会主催)が4月29日、緑川流域10市町で行われました。

豊野町では地域おこしグループ「ゆめ・豊野塾」(伊藤家次会長)が中心となり、地域住民ら約600人が参加して浜戸川・小熊野川流域の大清掃を実施しました。

参加者らは四つの班をつくり、浜戸川と小熊野川の二手に分かれて作業を開始。川沿いを歩きながら投げ捨てられた空き缶や空きびんなどのごみを拾いました。

集まったごみは2トントラック13台分。たくさんのごみ

を感じているようでした。

伊藤会長は「今年で7回目となりますがその成果が徐々に現れ、年々ごみは減ってきているようです。住民の環境に対する意識も高まり、大型連休の初日にもかかわらず、たくさんの方の参加がありました。



集められたごみを分別する参加者たち

緑川の清流を取り戻そう 豊野町の河川流域で 緑川の日一斉清掃を実施

